

(祝) 七段昇段おめでとうございます！

上天草支部 山下誠悟会員の昇段コメント

剣道を始めてからと七段合格まで 山下誠悟



私は30歳前から剣道を始め、早くも40年を過ぎました。

30歳代は、他のスポーツ(ソフトボール)と併用しながらやっておりました。

本格的には40歳過ぎてからです。40歳代では、四段、五段と50歳代では

六段に挑戦して、更に60歳代で七段に挑戦しました。

自分としては最後の審査だから楽しみながら挑戦(受審)しようと思い幾度となく

受けてきました。なかなか合格ラインまで行きません。これでは駄目だと思っているうちに足・腰・型に異常が出て更にコロナ渦に入って2～3年位審査を断念、

この間体を少しずつ直しながらコツコツと稽古してきました。

コロナが少し落ち着いた頃、2年程前から年齢的に楽しんでやってる場合ではないと思い気持ち切替えてやることにしました。

前回の審査を思い出しながら、初打刀に返し胴を打たれ、その後の立会いが二人に対して良い立会いが出来ました。集中力と平常心で、あの時の気持ちをもう一度と思い直し初心に帰って(当たり前のことだけど)立礼から蹲踞、発声迄、気合を入れていき、今回、相手に対して自然に体が動き2人に対してうまく出鼻面をとらせることができました。日頃の稽古の積重ねが今回の結果につながったと思います。

これも皆様方との稽古のおかげだと思います。もう昇段審査を受けることもなく寂しい気持ちもします。これからも子供達の指導をしながら剣道を楽しみながら健康管理の一つとしてやっていきたいと思えます。それに七段に恥じない様、稽古もしていきたいと思えます。これからのよろしくお願い致します。

以 上

(祝) 七段昇段おめでとうございます！

河浦支部 岩下行也会員の昇段コメント



令和6年9月1日に福岡で行われました七段審査会で合格することが出来ました河浦支部の岩下行也です。

私は38歳で天草へ戻り、当時地元の富津青少年剣道クラブで子供たちと稽古をさせて頂きながら、4段取得をし現在に至ります。

これもひとえに剣を交え、稽古にご指導頂きました河浦町剣友会、恩師の古館先生をはじめ諸先輩方や剣友の皆様にご心より感謝を申し上げます。

特に河浦の新合稽古では、週2回夕方より時間にして30～40分と短時間集中稽古ではありますが、繰り返し・打込み・基本打ちを主に行い、各々の体力の限界まで出し切る稽古を続けてきました。肩や肘・膝を痛め長期間休むこともありましたが、私より気力・体力のある七段の先輩方よりご指導いただきながら“声の大きさは負けまい”と必死に切り返しや打ち込み稽古をしました。この新合稽古が七段審査に大きく役立てたと考えています。

七段受審にあたり、稽古の時以上の技は出せないと考え、先ず90秒2本の立会いを如何に落ち着いて集中できるかを以下の3項目を私自身の立会審査の課題としました。

- ① 初太刀に全てを懸け打ち切り、残心までが一つの技とすること
- ② たとえ打てなくても気持ちや切らない、縁を切らないこと
- ③ 上太刀で凌ぎ、我上位なりの心持ちで堂々と立ち合うこと

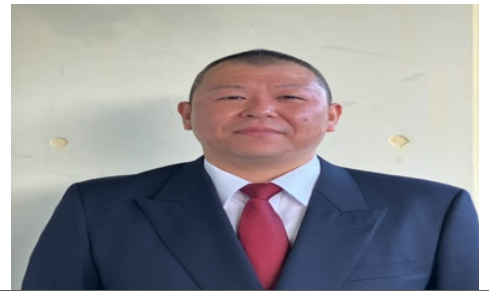
審査当日は午後から1組目の立会いとなり、他受審者の立会いを見なかった事も迷いがなく、良い結果に繋がったと考えています。立会い前にハプニングはありましたが、いい緊張感を持ちつつ“いつもの稽古のように”と“慌てず、恐れず、突き心で攻めを厳しく、面を打ち切る事”を自分自身に言い聞かせ、立会審査に挑んだ事を思い返します。

今後はこの段位に恥じぬよう、これまでに経験してきたことを天草の剣友と共に剣道を通じ、少年剣道や地域社会の発展に貢献出来る様、精進して参ります。

また、稽古の機会を与えてくれた家族や会社スタッフにも感謝し、今後とも先生・皆様方のご指導いただきます様、宜しくお願い致します。

(祝) 七段昇段おめでとうございます！

栖本支部 福島公一郎会員の昇段コメント



私は、本年9月1日福岡市総合体育館において、剣道7段審査に合格することができました。6年前に6段に合格してから、6年後に7段合格すればぎりぎり30歳代で合格！と思い、少年剣道の指導と共に日々稽古に励みました。

今回の審査では、審査前に大人の方と稽古する機会はあまりなかったのですが、週3回の少年剣道の指導では必ず防具を着け、元に立って稽古をしました。

実際、大人の方と稽古したのは、家族だけで稽古した時、妻と2回ほど立ち合いの稽古をただけでした。妻にはとても感謝しています。

今回、なぜ合格できたのかを考えてみますと、1番は、

小中学生の時に剣道の基本、正しい剣道をしっかり教わったことだと感じています。

小中学生の時は、あまり強い選手ではなかったのですが、その時に教わった剣道を継続でき、その剣道を審査会場で、そのままできたことが合格できた大きな要因だと思います。

やはり子供の時に習ったことは、大人になってもそのまま生きてくるのだと感じました。

そう考えると、小中学生の指導者はすごく大事だと思います。

私自身も指導する立場ですので、

基本に忠実な正しい剣道
を子供たちに教えていきたいと思います。

最後になりましたが、私をここまで育てていただいたすべての先生方に感謝し、今後は段位に恥じる事のない剣道人として、日々精進していきたいと思います。

今後ともよろしく申し上げます。